

見えない障害を理解する：
高次脳機能障害の正しい理解と支援のヒント

高次脳機能障害のある人を支える 地域連携

国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科
櫻岡絵里香（言語聴覚士）



セミナーの内容

1. 高次脳機能障害とは
ー「見えない」障害を理解する
2. 日常生活への影響と対応の基本1
ー注意障害・記憶障害・遂行機能障害
3. 日常生活への影響と対応の基本2
ー社会的行動障害
4. 日常生活への影響と対応の基本3
ー失語症
5. 高次脳機能障害のある人を支える地域連携

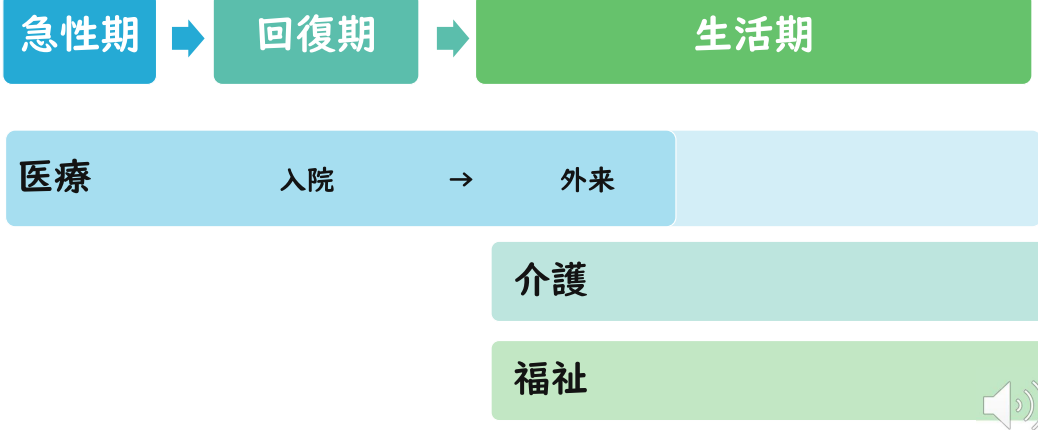


第5回の内容

1. 在宅生活での困りごと
2. 様々な社会資源や地域の関連機関
3. 高次脳機能障害のある人の支援のまとめ



回復ステージと医療・介護・福祉



生活期における支援の在り方

- 医療機関のみではリハビリテーションは完結しない
- 各高次脳機能障害に対する、専門家による客観的な評価は回復ステージによらずに必要
- 高次脳機能が生活にどのように影響しているかに主眼を置く
- 対象者の個別性への対応が重要となる



高次脳機能障害のある人の日常生活における問題

(武原2025)

- 適切な食事摂取
- 身の清潔保持および規則正しい生活
- 金銭管理と買い物
- 通院と服薬
- 他人との意思伝達および対人関係
- 身の安全保持および危機対応
- 社会的手続きおよび公共施設の利用



医療から地域リハビリテーションへ (渡邊2024)

- 医療機関退院時に高次脳機能障害を認める場合には、その内容と対応方法を本人、家族に対して説明する
- 入院生活は限られた環境の中で受動的な生活が主体となり、高次脳機能障害が及ぼす影響が顕在化しない可能性もあり、この点を十分に説明する必要がある
- 医療機関を退院する時点で、家族とその家族のニーズを把握し、目的に応じた地域連携を進める



福祉と介護

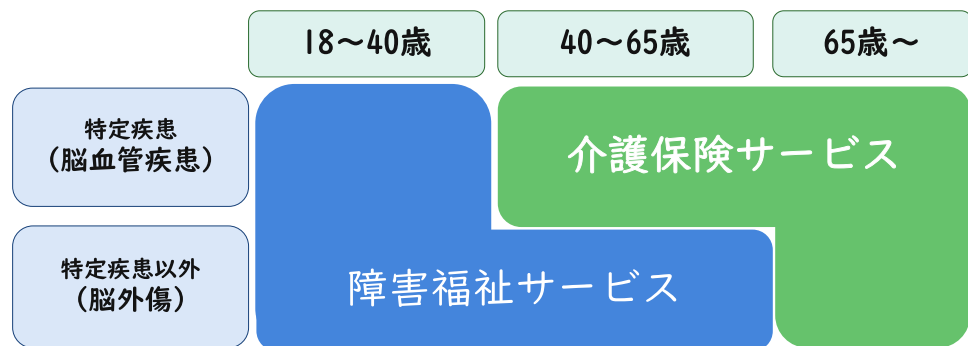
障害福祉サービス
(障害者総合支援法)

介護保険サービス
(介護保険法)

高次脳機能障害の原因と年齢によって、利用できるサービスが異なる



福祉と介護



高次脳機能障害の原因と年齢によって、利用できるサービスが異なる
共通する内容もあるが、「就労支援サービス」は障害福祉サービスのみ



様々な社会資源

□経済面を支える社会資源

- 障害者手帳制度：市区町村の障害福祉担当窓口
- 行政的定義の高次脳機能障害：精神障害者保健福祉手帳
- 失語症：身体障害者手帳
- 障害年金：年金事務所が申請窓口
- 傷病手当：協会けんぽ、健康保険組合担当窓口

□心理・社会面を支える社会資源

- 当事者の会・家族会：当事者・家族、支援者などが集まり、ピアサポートの場として活用されている



高次脳機能障害のある人を支える地域連携

当事者・家族を取り巻く様々な環境に合わせて、その時々
のニーズに合わせて、様々な立場の多施設、多職種で連携を
しながら支援を行う

関連する機関：

高次脳機能障害支援拠点機関、福祉事務所、保健所、地域包
括支援センター、障害者基幹相談支援センター（障害者相談
支援センター）、相談支援事業所、保健福祉センター、介護
保険サービス機関、就労支援機関、当事者・家族の会 など



高次脳機能障害のある人を支える地域連携

- 当事者、ご家族は、複雑な制度を理解し、様々な社会資源に関
する情報を収集することは大変な労力が必要
→困っていることを発信し、専門家を頼る
→迷ったら、栃木県では「障害者総合相談所」に相談
- 医療では、高次脳機能の評価や機能回復、在宅復帰を目標とした
支援はもちろんのこと、生活期の介護・福祉にいかにつなげるか
が最も重要な役割
→地域の資源を知り、適切な連携が必要



運転再開に向けた関係機関



医療機関

神経心理検査
ドライブシミュレータ
医学的判断
医師による診断書



自動車
教習所

必要に応じて
実車評価



免許
センター

相談窓口
臨時適性検査



公安
委員会

免許の可否を判断



高次脳機能障害のある人の支援のまとめ

- ・高次脳機能障害を正しく理解する
- ・心の段差を解消するために、正しい理解が支援の一步
- ・環境調整、生活や関わり方の工夫が生活を変える
- ・コミュニケーションは双方で責任を分かち合う
- ・高次脳機能障害のある人の支援は生活期が本番
- ・地域の資源を知り、個別のニーズに合わせた医療・介護・福祉の連携が求められる
- ・当事者・ご家族は抱えこまず、まずは相談を



参考資料

1. 高次脳機能障害者支援法（令和7年法律第96号）. 2025年12月公布，2026年4月1日施行

引用文献

1. 武原格. (2025). 特集 脳卒中生活期-QOL 向上において 高次脳機能障害. 総合リハビリテーション, 53(2), 141-146.
2. 渡邊修. (2024). 高次脳機能障害者に対する地域リハビリテーション医療. 言語聴覚研究, 21(4), 441-452.

ご視聴ありがとうございました。
アンケートにご協力ください。



令和7年度高次脳機能障害セミナーアンケート



<https://forms.office.com/r/RDkdNQeT1E>

栃木県障害者総合相談所（高次脳機能障害支援拠点機関）